

令和2年度第4回 全国健康保険協会和歌山支部評議会 議事録

開催日時：令和3年1月14日（木）～18日（月）

開催場所：持ち回りによる開催

出席者：金川評議長、足立評議員、植田評議員、岡田評議員、貴彦評議員、小牧評議員、
嶋本評議員、中村評議員（評議員五十音順）

令和3年1月14日（木）～18日（金）に令和2年度第4回全国健康保険協会和歌山支部評議会を持ち回りにより開催し、その概要は下記のとおりです。

議題

1. 令和3年度支部保険料率について
2. 令和3年度支部事業計画について
3. 令和3年度支部事業予算について

議題 1. 令和3年度支部保険料率について

事務局より資料に沿って説明。

主な意見・質問

【学識経験者】

新型コロナウイルス感染症の先行きが見えない中、平均保険料率を維持すべきと考える。今後見通しが立った時点で改めて検討すべき。支部保険料率については10.11%で了承する。

【学識経験者】

これまでは単年度で収支均衡をすべきと考えてきた。コロナ禍の状況では現状の平均保険料率10%を維持し、支部保険料率についても10.11%も妥当であるとする。

【学識経験者】

支部保険料率10.11%は承認する。コロナ禍ではこの先の見通しがつかない。今後も平均保険料率は可能な限り増減のないようにしていただきたい。保険料の納付猶予が約1,500億円とのことだが、あくまでも猶予であり結局は事業所として支払わなければならない。これは負担を後回しにしているだけであり、返済できずに倒産する事業所が続出するかもしれない。そうならないためにも国庫補助率を早期に20%に引き上げ、コロナ倒産しないように救済できる措置がなされることが望ましい。

【事業主代表】

平均保険料率 10%及び支部保険料率 10.11%は妥当である。

今後の人口減少、コロナ禍の状況を鑑みると、今このときに、皆で支え合わなければならない。

事業主の立場からは、保険料負担は少なくしてほしいが、景気動向がどう動くかは、様々な要素があるため、令和 3 年度は平均保険料率を下げずに準備金の積み立てで安定的な財政運営を行うことはやむなしと考える。

【事業主代表】

収支見込みのケース 1 は非現実的ではないか。直近の数値を注視し、どのケースに収支が動いているかチェックし、現状との乖離が出たら、その都度補正してほしい。

令和 3 年度の支部保険料率 10.11%は承認するが、今後平均保険料率が上がることはないよう国庫補助率 20%を強く要望してほしい。

【事業主代表】

今後は、特に 11 月以降は、医療費が増加していくと考えられる。また、コロナ以外の病気が減っていくわけではないのでコロナ関連及び従前の病気に対する医療費を合算して考えていかなければならない。

【被保険者代表】

平均保険料率 10%維持の考え方はコロナ禍の中、妥当であると考えます。

【被保険者代表】

毎年保険料率が変わることは、コロナ禍の状況もあり不安があるため、平均保険料率 10%維持でよい。また、今後、コロナの状況が落ち着き、見通しがたった段階で下げることも考えてほしい。

【被保険者代表】

次回のインセンティブ制度の評価はどうなるのか。

また、令和 2 年度の保険給付費が令和元年度より下がっているのはなぜか。

(事務局)

次回のインセンティブ制度は、緊急事態宣言が発令された時期や地域により業務縮小しているため修正は難しいと考える。国の動向をみながら本年秋の運営委員会で議論、結論を出す予定となっている。

令和 2 年度の保険料給付費は令和 2 年 4 月～6 月の受診控えが生じているためである。

議題 2. 令和3年度支部事業計画について

事務局より資料に沿って説明

主な意見・質問

【学識経験者】

健康経営については、今後重要となってくるため、力を入れてほしい。

【学識経験者】

ジェネリック医薬品の使用促進の取り組みは各支部で異なるのか。

また、県など行政機関が医師会に指導や要望してもらえる働きかけをしてはどうか。

(事務局)

医療機関や薬局訪問での意見交換、ジェネリック医薬品の使用率の見える化を資料にした情報提供ツールを医療機関に提供しているが、配付方法や配付数は各支部の状況に応じて異なっている。また支部によって広報媒体や広報素材に特色がある。和歌山支部では、路線バスを活用したものや TVCM、取材放映など工夫している。

今月中に県から医師会会員にジェネリック医薬品に関するアンケートを送付する事業に支部のジェネリック医薬品の情報提供ツールを同封してもらえるようになったので反応をみていきたい。

【学識経験者】

事業者アンケートはこれまで実施してきた広報の効果検証が可能となり、また、支部の事業への関心や要望の吸い上げも期待できるため、良い事業と思われる。課題としては、いかに回収率を高めることが重要である。

(事務局)

アンケート内容及び回収率アップのために時期等見極めて実施したい。

【事業主代表】

事業計画には、新型コロナウイルスのワクチンや PCR 検査に対する広報の項目が入っていない。

(事務局)

事業計画上は、明記していないが、国の動向を見据え、広報等、協会に依頼があれば柔軟に対応していきたい。

【事業主代表】

令和3年度は多くのTVCM、地元ラジオ等、多くの広報を計画しているが、事業主は、多忙である者が多いので興味を引く見出しが重要である。また、伝える用件は多くても3つまでが限度であるので参考にされたい。

(事務局)

いかに興味を引く見出しを作るか支部内で検討する。

【事業主代表・被保険者代表】

やはり、医療費適正化をどう進めていくかだと思う。適正化事業に力を入れてほしい。また、和歌山支部は、ジェネリック医薬品の使用率が低いので、特に力を入れていただき、医療費を抑え保険料率を下げる努力をお願いしたい。令和3年度はインセンティブ制度の恩恵を受けて保険料率が下がったこともあり、令和3年度も次の年度のインセンティブ制度の評価指標に影響のある事業に力を入れてほしい。

【被保険者代表】

健診受診後の受診勧奨やメンタルヘルスなどは、産業医の活用がもっと出来ないかと考えている。巻き込んでやっていく術があれば教えてほしい。

(事務局)

現在、県の産業保健総合支援センターと協同で相互の事業についての紹介リーフレットを作成しているところである。今後、各種事業について事業所に分かりやすい案内を実施したいと考えている。

議題3. 令和3年度支部事業予算について

事務局より資料に沿って前回提出した予算案の変更点について主に説明
特に意見はなし。

その他. 議長の選任について

全評議員の互選により議長に金川評議員を選出し、副議長として小牧評議員が指名された。

以上